

第12回 細胞制御セミナー

演題： 質量分析の医学応用 ～臨床診断から分子イメージングまで～

講師： 杉浦 悠毅 先生

慶應義塾大学・特任講師, JST さきがけ専任研究員

日時： 平成27年1月9日(金) 16:30～17:30

場所： 長崎大学薬学部第二講義室(2階)

要旨：これまで大型の機器を使った機器分析を、"何となく"敬遠して来た生物系研究者は少なくないのではないのでしょうか。高額で、使い方も難解で、壊して(汚して)しまったらどうしよう、そのような心理的障壁が遠ざけて来た質量分析が、現在活発に医学応用されています。

本セミナーでは、基礎医学研究において「質量分析イメージング」「メタボロミクス」といった質量分析技術を応用展開して来た講師の経験とともに、最新のテクノロジーが基礎研究だけでなく臨床診断や外科手術のツールとしても応用されているトピックを紹介したいと思います。

参考文献：

Toue S, Sugiura Y, Kubo A, Ohmura M, Karakawa S, Mizukoshi T, Yoneda J, Miyano H, Noguchi Y, Kobayashi T, Kabe Y, Suematsu M. Microscopic imaging mass spectrometry assisted by on-tissue chemical derivatization for visualizing multiple amino acids in human colon cancer xenografts.

Proteomics 14: 810-819 (2014)

Sugiura Y, Honda K, Kajimura M, Suematsu M. Visualization and quantification of cerebral metabolic fluxes of glucose in awake mice.

Proteomics 14: 829-838 (2014)

実験医学別冊『見つける、量る、可視化する！ 質量分析実験ガイド』杉浦 悠毅、末松 誠／編，羊土社 (2013)

連絡先：長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科
生命薬科学専攻 細胞制御学分野
武田 弘資

TEL: 095-819-2417

E-mail: takeda-k@nagasaki-u.ac.jp